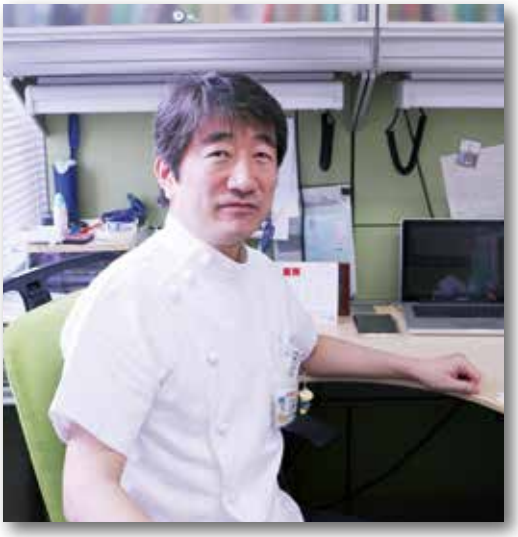
2024年度
臨床研修医募集要項

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization
埼玉病院
Saitama National Hospital

国立病院機構埼玉病院の研修プログラム責任者・指導医からご挨拶

研修プログラム責任者から

副院長　小児・周産期母子センター部長　**上牧　勇**



埼玉病院の初期研修へようこそ！

国立病院機構埼玉病院は、人口46万人の朝霞地区に位置し、県内10番目の救命救急センターで、循環病基幹施設、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、感染症指定医療機関に指定されている地域の中核病院です。2018年11月に新館が完成し、550床の病院となりました。活気ある病院で研修生活をスタートさせませんか。

埼玉病院の研修は、実践を重視していますが、それだけでなく、症例検討会、抄読会、共通プログラムなどの勉強会も充実しています。埼玉県医学会、国立病院医学会、内科ことはじめなど学会発表にも力を入れています。

職員家族主義のもと、社会人として第一歩を踏み出す先生方を家族の一員として受け入れ、社会人の常識から医学知識まで病院全体で熱く教育します。“忙しく、楽しく！”メリハリをつけて研修生活を送れるように支援しています。

埼玉病院で初期研修を頑張ってみませんか。やる気のある皆さんをお待ちしております。

内科系指導医から

総合診療科部長　**中澤　進**

これから初期研修医として臨床現場に飛び込んでこられる皆様、初めまして！

総合診療科中澤です。私が医学部を卒業したのは平成7年ですが、それから二十数年が経ち、初期研修を行える病院は非常にバラエティに富んでいて、皆様も選択に迷われていると思います。

正直な話、どの病院で研修されたとしても、体力、気力、やる気さえあれば唯一無二の素晴らしい時間となることは間違いなしです。

この2年間の研修が今後の医師人生の土台となりますので、強固な土台を築いてください。

私が当院に赴任して十数年になりますが、巣立っていった研修医達のその後の成長を見ると非常に微笑ましく思っています。皆、我々が与えた愛情をしっかり下の世代に注いでくれていて、雰囲気は最高です。こんなありふれた病院ですが、一緒に仕事ができたら嬉しいです。

よろしければ、まずは見学にいらして頂き、雰囲気を肌で感じてください。

救急科指導医から

救急部長　**冨永　善照**

もう皆さんは自身の将来の医師としてのどのようになりたいかを頭の中で描けているでしょうか？ばりばりと手術をする外科医、精密な診断と治療を行う内科医、またご両親から病院を引き継ぎ地域の医療を支える医師等色々あると思います。医者になってみたくて医学部に入ったが、自分はどの診療科の医師になりたいか決めきれない、そんな方も多いと思います。初期研修の時に経験した症例は時にその研修医がどの分野を選ぶかを決めることがあります。症例が多くないとそのような経験をする可能性は少なくなるでしょう。しかし、症例を経験してもきちんと理解できなければ、次の症例に生かしきれない。そこには指導医からの適格なアドバイスが必要であるときもあります。自分に合った環境を見つけるのも医師としての第一歩です。この病院にはそのような環境がそろっていると考えます。是非、一度見学に来てください、できれば一緒に働いてみませんか

研修医からのメッセージ

初期研修医1年次（2023年度入職）〔基本コース〕
渡邉　夏実（慶應義塾大学卒）

私が埼玉病院を研修先に選んだ理由のひとつは、患者さんや職員の方全員を家族のように大切にする「患者さん・職員家族主義」の理念に惹かれたからです。見学や実習に来た際には、廊下ですれ違うたびに笑顔で挨拶をしていただき、人や雰囲気の温かさを日々感じていました。また当院の基本コースの魅力のひとつには選択期間が全40週あり、自分の興味のある科や進路に合わせた研修プログラムにすることができる点もあります。さらに入職直後には１週間のオリエンテーションが用意されているので、先輩方や看護師の方、事務の方、他職種の方々に手厚くご指導いただきながら、安心して充実した研修を送ることができます。研修期間は2年間という短い期間ですが、医師として働き始める最初の一歩として、ぜひ病院見学や実習で当院の雰囲気を感じてみてください！お待ちしています。

初期研修医1年次（2023年度入職）〔小児科コース〕
石川　侑花（群馬大学卒）

皆さんは研修病院を選ぶ際、何を重要視されていますか？私が埼玉病院を研修先に選んだのは、見学の際に多職種からなる病院職員が互いに挨拶を交わし、日々コミュニケーションを取られている中で構築された、当院の明るい雰囲気が印象的だったからです。この印象は入職してからも変わらず、気になることがあった際に、誰にでも相談できる優しく暖かい当院の環境が大変魅力的に感じています。

小児科コースでは、オリエンテーションを終えた後、小児科から研修がスタートします。ミニレクチャーや救急シュミレーションなど、小児科の先生方から直々に教えてもらえる機会が用意されています。また、座学のみに留まらず、指導医の先生の監督の下、問診から処置まで幅広い経験を積むことができ、初期研修で育むべき力を付けられること、間違いなしです！皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。

初期研修医1年次（2023年度入職）〔外科コース〕
戸田　郁文（三重大学卒）

フレンドリーな雰囲気の病院で研修をしたい！僕が初期研修先を探す中で １ 番大切にしていたことでした。埼玉病院は、同期、先輩、上級医、コメディカル、職員の方々、どの人であっても話しやすく熱意を持って研修医をサポートしてくれます。

当院は市中病院でありながら外科系診療科が揃い、様々な領域の症例経験を積むことが可能です。外科コースは初めに外科からローテーションを始めるので、研修の早い段階から積極的に手術に参加して外科医としてスタートすることができます。

外科だけでなく、内科産婦小児マイナーと診療科が充実しているので、専門の先生方の丁寧な指導を受けることもできますよ！

是非一度見学に来て、埼玉病院の暖かい雰囲気を確かめに来てみてください！そして一緒に忙しく楽しんで研修しませんか？お待ちしています！

初期研修医1年次（2023年度入職）〔基本コース〕
津波古　貴也（宮崎大学卒）

「アットホームな雰囲気」が埼玉病院に私が惹かれた一番の理由です。見学時に研修医の先生方が同期だけでなく職員の方々とも笑顔でお話されていたのが印象的でした。私は宮崎大学出身で友達が誰もおらず不安に満ちたスタートでしたが、１ 週間を絶たずとも全国から集まった同期と打ち解けることができました。オリエンテーションでは、２ 年目の先生がカルテの使い方から血液培養のとり方までやさしく指導してくださいました。

また、メリハリのある研修生活を送れることも当院の魅力の一つだと思います。手技の機会も豊富で、先輩ドクターとコメディカルの方々に見守られながらたくさんの手技にチャレンジできています。また、埼玉病院という名前ですが徒歩５分で東京都という立地なので、休みの日には都内に遊びに行くこともできます。

ぜひ、みなさん見学に来てください！

初期研修医2年次（2022年度入職）〔産婦人科コース〕
町田　芳知（東北医科薬科大学卒）

僕が埼玉病院を選んだ理由としては、先生方を始め、医療スタッフの方々が親切で明るく、また、教育的な環境であったことに惹かれたからです。

指導医たちが熱心に優しく指導してくれるので、様々な診察・手技に積極的に挑戦できるだけでなく、分からないことについても気軽に相談できますし、丁寧に教えていただけます。

また、学会発表など学術面でも手厚くサポート受けられます。

また、産婦人科コースは産婦人科期間が長く、分娩や手術、エコーなど様々なことが学べるのはもちろんのこと、選択期間も長いのが特徴で、診療科を自由に選ぶことができるため、選択期間で産婦人科を延長して選択することもできますし、産婦人科に関わるような科をいくらでも選択でき、柔軟な研修が可能です。

自分が産婦人科コースとして入って、後悔したことなどありませんし、むしろこの病院を選んで本当に良かったと実感しております。

是非一度当院に見学へお越しください！当院の雰囲気を自分の肌で感じていただけたら幸いです！

《 埼玉病院 Twitter 》
https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp

初期研修医情報発信中

基本コースの紹介

● プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム　基本コース

研　修　期　間：２０２４年4月１日～２０２６年3月３１日

プログラム責任者：副院長　小児・周産期母子センター部長　上牧 勇

副プログラム責任者：教育研修部長　麻酔科　代表専門医　和田 弘樹

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

プログラムの基本

必修科目として内科系32週、救急科６週、産婦人科、外科、小児科、地域医療、精神科、外来研修各４週、麻酔科６週を必修とする。１年目は、主に内科系診療科で研修を行う。救急研修では、救急科に所属する６週間の研修以外に月４～５回の全科当直を行い、継続的にトレーニングを行う。２年目に４週間の地域医療研修を診療所等で実施し、40週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。内科系、救急科、麻酔科については、1年目に研修することを基本とする。また、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修する。

定員：１学年10名、２学年合わせて20名

《研修日程の１例》

１年目	内科系　32週間				麻酔科 6週間	外科 4週間	救急科 6週間
２年目	小児科 4週間	精神科 4週間	地域 4週間	産婦 4週間	選択科目　40週間		

● 副プログラム責任者

教育研修部長　麻酔科　代表専門医　和田　弘樹

臨床研修プログラム・基本コースでは、基本的な疾患の初期診療を行い、重症度に応じて適切に対応できる臨床レベルに到達することを目標にしています。

当院の臨床研修プログラムの一番の特色は、研修を行いやすい職場の環境と雰囲気にあると思います。実際に当院に見学に来てもらえば、「各診療科・看護師・その他の医療従事者が、お互い困ったときは気軽に相談しやすい、非常に働きやすい病院です」という今までの研修医の先生たちの感想が、誇張ではないことがわかると思います。

また、病院の規模に対して比較的、研修医の数が少ないため、指導医の先生から熱心な指導を受けることができ、研修医の間に身に着けたい手技も優先的に行うことができます。大学病院など研修医の人数が多い病院では、なかなか行う機会が回ってこない手技なども、実際に行うことができると思います。

他の施設の臨床研修プログラムと少し違う特色の一つは、救急研修の6週間以外に麻酔科研修の６週間があることです。救急医療の場や病棟での患者急変時に必要となる挿管・確実なルート確保（抹消及び中心静脈）などの手技を、落ち着いて身に着けることができます。

さらに、当院のプログラムでは、各部門の専門医が行う勉強会も充実しており、幅広い症例を学び、充実した研修医生活を送ることができると思います。来年、皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

小児科コースの紹介

● プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 小児科コース
研　修　期　間：２０２４年4月1日～２０２６年3月３１日
プログラム責任者：小児科医長　仲澤 麻紀

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、小児科または産婦人科、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

小児科プログラムの基本

必修科目として小児科22週、内科系25週、救急科、麻酔科、産婦人科を各６週、外科、地域医療、精神科、外来研修各４週を必修とする。救急については、救急外来での6週間の研修及びオリエンテーション後２年間の日当直（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）で研修する。２年目は４週間の地域医療研修を診療所等で実施し、27週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は小児科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：１学年２名、２学年合わせて４名

《研修日程の１例》

１年目	小児科 6週間	内科系　25週間			麻酔科 6週間	外科 4週間	救急科 6週間
２年目	精神科 4週間	地域 4週間	産婦人科 6週間	小児科 16週間	選択科目　27週間		

● 小児科プログラム責任者

小児科医長　仲澤　麻紀

当院小児科は、常勤医23名（2023年度）と人員に恵まれた環境で小児救急、新生児医療、大学との連携もある豊富な専門外来に力を入れています。人口46万人の朝霞地区で24時間小児救急を行う唯一の病院として、年間8,000名程度の救急患者さんと約800台の救急車を受け入れています。初期研修医の先生方は、多くの救急患者さんの診療にあたることで小児疾患を幅広く経験することができます。

小児科コースでは、小児科で医師としてのスタートを切ることにより自分の目指す将来像をイメージしやすくなります。さまざまな専門をもつ指導医たちが「和やかで相談しやすい雰囲気」をモットーに皆さんを歓迎し丁寧に指導します。地域の中核施設として多くの急性から慢性疾患まで経験できることに加え、2年目にはNICUや選択により小児外科、皮膚科、耳鼻科など関連の深い科での幅広い研修を積むことができます。未来のあるこどもたちのために一緒に学べる仲間をお待ちしています。

産婦人科コースの紹介

● プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 産婦人科コース
研　修　期　間：２０２４年4月1日～２０２６年3月３１日
プログラム責任者：産婦人科部長　倉橋 崇

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、小児科または産婦人科、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

産婦人科プログラムの基本

必修科目として産婦人科22週、内科系25週、救急科、麻酔科、小児科を各６週、外科、地域医療、精神科、外来研修各４週を必修とする。救急については、救急外来での6週間の研修及びオリエンテーション後２年間の日当直（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）で研修する。２年目は４週間の地域医療研修を診療所等で実施し、27週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は産婦人科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：１学年２名、２学年合わせて４名

《研修日程の１例》

１年目	産婦人科 6週間	内科系　25週間			麻酔科 6週間	外科 4週間	救急科 6週間
２年目	精神科 4週間	地域 4週間	小児科 6週間	産婦人科 16週間	選択科目　27週間		

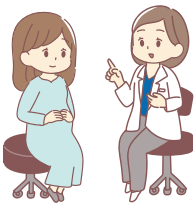
● 産婦人科指導医

産婦人科医長　樋野　牧子

埼玉病院産婦人科には、令和5年現在13名の常勤医が在籍しています。産婦人科専門医7名、婦人科腫瘍専門医1名、周産期専門医3名、臨床遺伝専門医1名、女性ヘルスケア専門医1名を擁し、幅広い分野で専門性の高い診療を行なっています。年間100件程度の悪性腫瘍手術、250件程度の内視鏡手術を行うとともに、年間約700件の分娩を取り扱っております。

多様な専門性をもつ指導医のもと、皆が楽しくかつ常にレベルアップできることを目指し、帝王切開などの実践的な手術手技や、周産期管理を中心に指導を行なっています。カンファランス・勉強会では、ガイドラインやエビデンスに基づいた治療知識を深めることができ、学会発表も全力でサポートします。また、皆さんと年齢の近い後期臨床研修医と一緒に患者を担当しますので、気軽に相談できる研修環境です。

全ての女性の幸福のため日々研鑽しており、一緒に頑張ってくれる若い力を産婦人科一同、お待ちしております！



外科コースの紹介

● プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム　外科コース

研　修　期　間：２０２４年4月１日～２０２６年3月３１日

プログラム責任者：副院長　外科部長　早津 成夫

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、外科、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達すること。特に、将来外科を専攻することを念頭に外科専門医研修プログラムに円滑に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

外科プログラムの特色

必修科目として外科16週、内科系25週、救急科、麻酔科各６週、産婦人科、小児科、地域医療、精神科、外来研修各４週を必修とする。さらに、外科専門医取得に必要な経験症例を確保するため、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科各６週を必修とする。

救急については、救急外来での６週間の研修及びオリエンテーション後２年間の日当直（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）で研修する。

２年目は４週間の地域医療研修を診療所等で実施。17週間を研修医自身が希望する選択科目に充てるが、特に外科診療に有用と思われる形成外科、泌尿器科、放射線科、病理等を選択することを推奨する。研修は外科から開始する。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：１学年２名、２学年合わせて４名

《研修日程の１例》

１年目	外科　10週間		内科系　25週間			麻酔科 6週間	小児科 4週間	救急科 6週間
２年目	精神科 4週間	地域 4週間	産婦人科 4週間	呼吸器外科 6週間	心臓血管外科 6週間	乳腺外科 6週間	外科 6週間	選択科目（形成、泌尿器、緩和ケア、放射線、病理、推奨）17週間

● 外科プログラム責任者

副院長　外科部長　早津　成夫

埼玉病院には、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、救急科と外科の全領域の診療科がそろっており、手術症例数は合わせて年間1300例に及びます。地域の中核病院として鼠径ヘルニアや急性虫垂炎のようなcommon　diseaseから大学病院と同等の高度専門医療まで幅広く診療しています。年間200件近い緊急手術にも対応しています。

外科コースではこれらの科を必修でローテーションすることで、長時間にわたり外科の実臨床に触れ、外科的基本手技を習得、入門的な手術のoperatorを経験することもできます。また、術前から術後までの周術期全身管理を濃密に学べます。外科系診療科を志望している研修医には魅力的なプログラムとであると自負していますし、特に外科を専攻することを決めている諸君には、初期研修医のうちに外科専門医取得に必要な症例のほとんどを経験することができる点で、将来どこで専門医研修を行う場合でも非常に有利です。

情熱を持って手術に取り組んでいる指導医たちが待っています。是非一緒にがんばりましょう！

内科コースの紹介

● プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム　内科コース

研　修　期　間：２０２４年４月１日～２０２６年３月３１日

プログラム責任者：臨床研究部長　脳神経認知症センター部長　石川　晴美

プログラムの目標

当院は地域の基幹病院として豊富な症例を有している。この豊富な症例を通し、臨床研修の到達目標である①「行動目標；医療人として必要な基本姿勢・態度」、および、②「経験目標；A経験すべき診察法・検査・手技、B経験すべき症状・病態・疾患、C特定の医療現場の経験」について研修し、研修修了時にはほぼ独立して遂行できることを目標とする。また、行動目標においては、なかでも、問題対応型の思考、安全管理、チーム医療の実践に重きをおく。

内科プログラムの特色

内科の主な領域である7診療科を研修する内科に特化したプログラムである。初期臨床研修の内科研修期間を長くすることで、内科診療に必要な臨床能力を包括的に習得し、総合内科専門医取得に必要な症例を早期から経験し、研鑽を積む。病院の基本方針である患者さん・地域家族主義に基づいた患者中心の医療、職員全員で患者さんを支えるチーム医療を体得できることが当院の特色である。また、プライマリーケアのみならず急性期医療および種々の高度専門医療を提供できる医師像をめざし、主体的に学び自己研鑽できる医療人の育成を行う。

内科系を主科とする。消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科 計５６週、総合診療科、感染症 計8週 を必修とする。研修は主科から開始する。主科以外の必修科目としては、外科、産婦人科、小児科、地域医療、精神科各４週、救急科６週とする。救急については、救急外来での6週間の研修に加え、オリエンテーション後に救急外来日当直研修（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）を通年で行う。

各科研修中の一定期間、認知症ケア、感染対策、栄養サポート、呼吸サポート、緩和ケアチームラウンド各チームそれぞれのカンファレンスとラウンド（1回/週、2-3時間程度）に加わる。

２年目は４週間の地域医療研修を診療所等で実施。14週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。

全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：１学年２名、２学年合わせて４名

《研修日程の１例》

１年目	内科系 16週間		救急科 6週間	内科系　30週間					
２年目	内科系 10週間	感染症 4週間	総合診療科 4週間	地域 4週間	精神科 4週間	外科 4週間	産婦人科 4週間	小児科 4週間	選択科目 14週間

● 内科指導医プログラム責任者　　臨床研究部長･脳神経認知症センター部長　石川　晴美

埼玉病院に興味を持たれている方も、そうではない方も、これをご覧になっていただきありがとうございます。脳神経内科を専門としている石川と申します。社会人･医師としての第一歩である研修生活に大きく胸を膨らませながら、けれど慎重に、そして同時に不安を覚えながら研修先を探していることと思います。

当院は地域の基幹病院として豊富な症例を有しています。また、内科系･外科系ともに多くの診療科がそろっており、プライマリケアから高度な専門性を必要とする疾患まで、各科と連携しながら幅広く研修を行うことが可能な病院です。医師に加え、看護師、薬剤師、栄養士、MSW、リハビリ療法士などの多職種が皆様の成長をサポートします。多職種連携を学ぶことは、全人的医療をおこなううえで大いに役立つことと思います。

まずは、見学にいらっしゃり、研修医の生の声を聴いてください！

内科系を進路に考えている、外科系に不安を覚えている、進路を決めていないが内科を長く研修したい、などの方々、埼玉病院 内科コースをご希望ください。

Medicine should begin with the patient, continue with the patient, and end with the patient.（William Osler）

皆さんと一緒に患者の傍に立ち、全人的医療をおこなうことを楽しみにしています。

臨床研修のための国立病院機構埼玉病院紹介

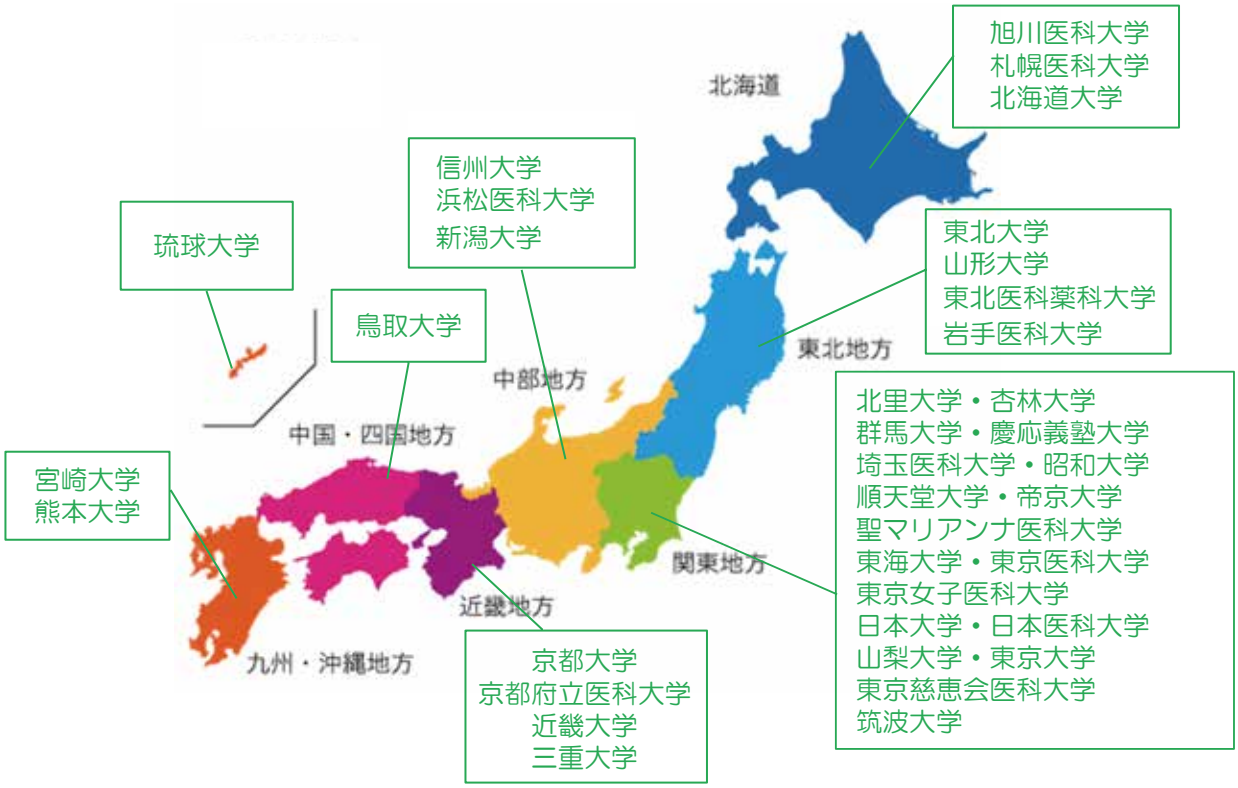
病床数：550 床
特　色：地域医療支援病院、循環器病基幹施設、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、救命救急センター

診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、腫瘍内科、歯科口腔外科、血液・膠原病内科、腎臓内科

●協力型臨床研修病院
慶応義塾大学病院、日本大学付属板橋病院、日本大学病院、大泉病院

●協力型臨床研修協力施設
勝海外科、天野医院、志木北口クリニック、志木駅前クリニック、 SS こどもクリニック、秩父市立病院、大塚産婦人科小児科医院、菅野病院、駒木野病院、朝霞中央クリニック、佐藤レディースクリニック

●当院で研修を受けた研修医の出身大学　（2019 年度～ 2023 年度）



●2023年３月修了生　初期研修修了後の進路
・埼玉病院（専攻医）：小児科１名
・慶應大学（専攻医）：循環器内科１名、血液内科２名、腎臓内分泌代謝内科１名、外科１名、整形外科３名、小児科１名、産婦人科２名、皮膚科１名
・東京都内大学病院（専攻医）：皮膚科１名、救急科１名、放射線科１名
・東京都内の市中病院（専攻医）：脳神経外科１名
・東京・埼玉以外の市中病院（専攻医）　１名

臨床研修のための国立病院機構埼玉病院紹介

●指導医の紹介

研修責任者：上牧　勇
循環器内科：松村圭祐、田中宏明、小野智彦
消化器内科：細田泰雄、山口晃弘、倉持みずき
総合診療科：中澤　進、玉井恒憲
脳神経内科：石川晴美
血液･膠原病内科：入山規良
腎 臓 内 科：福家吉伸
外　　科：石塚裕人、早津成夫、柳在勲
麻　酔　科：和田弘樹、山田茂行、松岡信広、遠藤暢人、徳永元秀、幡生洋介
産 婦 人 科：倉橋　崇
小　児　科：上牧　勇、栗原伸芳、眞路展彰、仲澤麻紀
救　急　科：冨永善照、石井　充
選　択　科：各科医長
精　神　科：冨田真幸（大泉病院）

●臨床研修説明会（5 年生以下向け）

開催予定はホームページ・Twitter でお知らせ致します
https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp

●病院見学

病院見学の申込みは、随時受付けております。
詳しくはこちらをご確認ください。

2024 年度　初期臨床研修医募集要項

● 各コース共通

研修期間：2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日
募集人数：基本コース　10 名
小児科コース　2 名
産婦人科コース　2 名
外科コース　2 名
内科コース　2 名

募集要項・研修医処遇につきまして、詳しくはこちらをご確認ください。

臨床研修病院施設番号：030139
JCEP 認定病院 (2022 年 3 月)

卒後臨床研修評価機構
認定病院
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
JCEP

専門医研修プログラムの紹介

●埼玉病院が基幹施設の専門プログラム

・内科　・総合診療科　・麻酔科　・リハビリ科　・小児科　・救急科　・外科　・眼科

●2020 年度採用専攻医

・内科４名 (消内 3、神内 1)・麻酔科１名・リハビリ科４名・小児科３名

●2021 年度採用専攻医

・内科２名 (消内 2)・リハビリ科６名・総合診療科１名・産婦人科１名

●2022 年度採用専攻医

・内科１名 (循内 1)・リハビリ科６名・小児科２名・眼科１名・麻酔科２名

●2023 年度採用専攻医

・リハビリ科２名・小児科１名・救急科１名・眼科１名・麻酔科３名・外科１名

専門医研修部長から

眼科部長　細田　進悟

当院は埼玉県第６次地域医療計画（2013 年８月）に基づき小児医療・周産期医療・救急医療・緩和医療・がん等高度専門医療・感染症病床を中心に 200 増床が認められ、2018 年 11 月より段階的に増床を行い、2021 年春に 550 床の病院になりました。

多くの病院がダウンサイジングするなかで 200 床の増床が認められたのは、今後この地域の医療需要の増加が見込める事に加えて、当院が提供する医療の質、収益性、職員の熱意などが評価された結果だと考えております。

350 床の中規模病院から 550 床の大病院に生まれ変わったことで、診療の質や範囲をさらに拡大する必要があり、現在全職員が向上心を持って取り組んでおります。

また当院では 2023 年度現在、基幹施設として内科、麻酔科、総合診療科、小児科、リハビリテーション科、産婦人科、外科、救急科、眼科の専門研修プログラムを実行しており、多くの専攻医が修練を積んでおります。

埼玉病院は基本方針の一つとして職員家族主義を掲げて、やりがいのある明るい職場環境を目指しております。これに賛同して初期研修を修了した多くの先生方が専攻医として当院での研修を希望されており、我々は実りのある後期研修も提供できるよう、日々努力を重ねております。又、県内の基幹病院のみならず、大学病院、地域医療の中核となる施設などとも連携しており、幅広い研修を受ける機会があります。

当院での初期研修を検討される際は、その後の専門医研修を当院で継続して受けられる選択肢もあることも判断材料の一つとして加えて頂ければ幸いです。

内視鏡センター診察室

周産期母子センター（NICU）

手術室

救急入り口

腎センター

講　堂

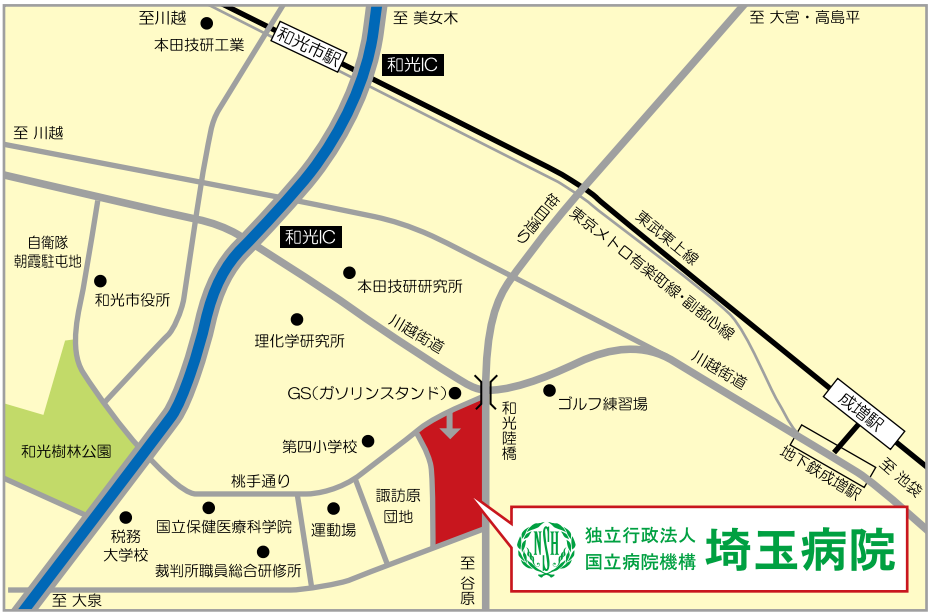
心臓カテーテル室

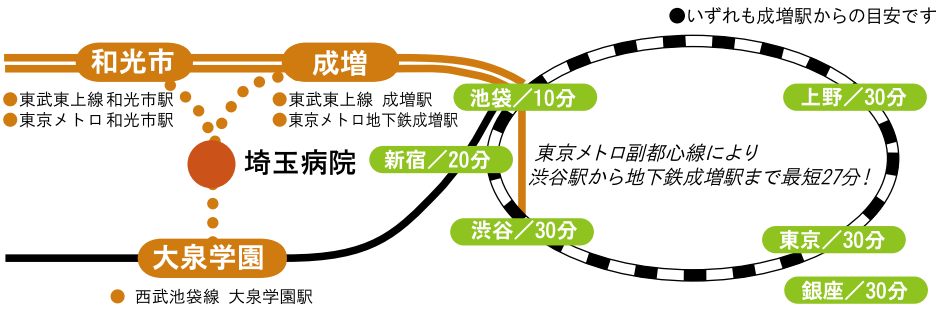
職員ラウンジ

CT

MRI

病院案内略図





公共交通機関をご利用の場合

- ● 東武東上線 成増駅下車
- ● 東京メトロ有楽町線 地下鉄成増駅下車
- ● 東京メトロ副都心線 〃

● 成増駅南口から東武バス乗り換え（②番）
「南大和」行き乗車「埼玉病院入口」下車（所要時間7分）
● 成増駅南口から西武バス乗り換え（①番）
「大泉学園駅」行き乗車「埼玉病院入口」下車（所要時間7分）

- ● 東武東上線 和光市駅下車
- ● 東京メトロ有楽町線 地下鉄和光市駅下車
- ● 東京メトロ副都心線 〃

● 和光市駅南口から東武バス乗り換え（③番）
「埼玉病院」行き乗車「埼玉病院」下車（所要時間13分）

● 西武池袋線 大泉学園駅下車

● 大泉学園駅北口から西武バス乗り換え（②番）
「成増駅南口」行き乗車「埼玉病院入口」下車（所要時間30分）

自動車をご利用の場合

R254（川越街道）バイパスと練馬川口線（笹目通り）の交差点（和光陸橋下5差路）のGS（ガソリンスタンド）横を入るとすぐ左側に病院入口

独立行政法人
国立病院機構
埼玉病院

〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1
Tel.048-462-1101　Fax.048-464-1138

https://saitama.hosp.go.jp